



~笑顔あふれる  
育ちのひろば~  
令和4(2022)年8月3日  
社会福祉法人 見真会  
明光保育園

暑中お見舞い申し上げます。

ギラギラと太陽が照り付ける本格的な夏がやってきました！

園舎屋上の朝顔が白と紫の花を咲かせ、ヒマワリもグングン伸びて黄色の花を咲かせています。子どもたちは、熱中症に気を付けながらプールでの水遊びやシャワー、沐浴を楽しんでいます。

白、青、黄組の子どもたちは、水遊びの約束などを一緒に学びました。安全に遊ぶために真剣に説明を聞いて、「走らない！」「ケンカはしたらいけん！」「よく眠る！」「朝ご飯はちゃんと食べる！」など、たくさんの約束をみんなで確認しました。

園では新型コロナウイルスの感染が広がり、6月14日（火）から6月29（水）までに32人（園児24人、職員8人）が感染しました。この間、保護者の方々にご迷惑をおかけし、また、ご不安を与えましたことを深くおわび申し上げます。

7月は、感染が抑えられていましたが、全国的な感染の拡大を受けて、8月に入り再び感染が拡大しつつあり、注意と感染対策の徹底が必要となっています。（8月3日現在：園児7人、職員1人）

これに加えて、RSウイルスに感染する園児が増えてきています。発熱、鼻水、咳などの風邪症状が続き、多くは軽症で済みますが、まれに重症化すると言われています。非常に感染力が強く、何度も感染と発病を繰り返します。感染の多くは、咳やくしゃみなどによる「飛沫感染」、鼻や口などの粘膜を通じた「接触感染」です。（8月3日現在：風邪症状での欠席園児 20人）

新型コロナウイルスやRSウイルスなどへの感染予防の第一は「手洗い」と「消毒」です。

園では園児、職員の手洗いと園内の消毒の徹底に努めていますが、各ご家庭においても感染防止についてご協力をお願いします。RSウイルスは、アルコールに強く、石鹼による手洗いが効果的と言われています。

保育園は、多くの子どもたちが集団で生活しています。園内感染を防ぎ、子どもたちの大切な命・健康を守るために、お子さんに発熱や咳、嘔吐、下痢などの体調不良があるときは、兄弟姉妹を含めて登園は自粛して医療機関を受診させて、感染リスクが低くなつてから再登園させるように重ねてお願いします。※注

まだまだ暑い夏が続きます。暑さと感染症に負けないように気を付け、一人ひとりをかけがいのない存在として、個性を活かし、心身の成長や思いに寄り添いながら、「今年の夏」が楽しい思い出であふれるように支援していきます。

※注 欠席する場合は、当日の9時までに職員に症状、受診状況を含めて連絡してください。感染症による再登園には基準があります。「保育園からのお願い 4」をご確認いただくか、職員にお問い合わせください。

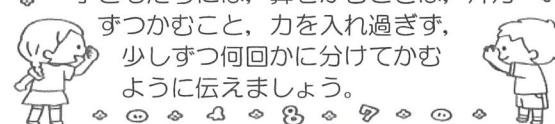
8月7日 鼻(8月7日)の日

食中毒に注意しましょう！！

県内には食中毒警報が発令されています。暑い夏、高温多湿な日が続いて食中毒が発生しやすい気象条件となっています。

食中毒予防の3原則は、

- ①十分な手洗いで「つけない」
- ②低温保存で「ふやさない」
- ③十分な加熱で「やっつける」です。



原子爆弾投下と平和の日の集いについて

今年は、広島に原子爆弾が投下されてから77年を迎えます。原子爆弾の被害はあの日だけの惨劇にとどまらず、放射線による心的、外的被害は、今もなお、多くの人々を苦しめ続けています。被爆者の高齢化により被爆体験を後世に引き継いでいくことも、広島で暮らすわたしたちの役割と考えています。

園では、8月5日（金）に「平和の集い」を行います。集いに向けて折り鶴を折ったり、戦争のことや原爆などの絵本の読み聞かせを行って、自分もみんなも大切な存在であること、みんなと仲良くすることなどについて話し合っています。

5日には、白、青、黄組は、折り鶴を持って熊野神社の脇にある「海田町戦没者・原爆死没者慰靈塔」を訪れて折り鶴を捧げます。

世界中の誰もが、笑顔で安心して毎日を過ごすことができるよう心から願っています。



海田七タさんの笹飾りを作りました。

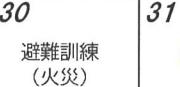


6月からヴァイシュナビさんの英会話・国際理解を毎週木曜日にオンラインで再開！7月28日からは故郷のインドからライブで行っています。

カサブランカ（ユリ）の大輪がたくさん咲きました。



（おわび）  
新型コロナ対応のため、6、7月の園だよりが発行できませんでした。  
園の活動などのご連絡、ご紹介が不十分となりご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

日	月	火	水	木	金	土
	8月1日	2 延期 休日保育	3 延期 茶道のひろば (白・青組)	4 延期 体操のひろば (黄・桃組) 英会話	5 平和の日の集い (白・青・黄組)	6
7 <b>立秋</b> 休日保育	8 絵画表現の ひろば (青組)	9	10 乳幼児突然死 症候群(SIDS) (職員訓練)	11 山の日 休日保育	12	13
14 -休園日-	15	16	17	18 英会話 (白・青・黄組)	19	20
21 休日保育	22 身体測定週間	23 <b>処暑</b>	24 誕生日会	25 英会話 (白・青・黄組)	26 テイキャンプ (白組)	27
28 休日保育	29 プール納め	30 避難訓練 (火災)	31 	9月1日 <b>防災の日</b> 英会話	2	3

8月園だより担当 保育士:原田、今田、石崎、相原、島崎  
栄養士:佐々木 編集:事務長 白木

電話 (082) 823-0366  
アドレス info@kenshin-meikou.jp

## クラスの紹介

### 【赤組 1歳児 16人】担任:金井、副担任:倉留

4月から4か月が経ち、一人ひとりと十分に寄り添い、信頼関係を築いてきました。子どもたちは安心して生活していく中で笑顔が増えています。

少しずつ周りの子どもたちへの興味も増しており、職員が言葉にならない個々の思いを汲み取り、仲立ちをして、伝えながら、子ども同士のかかわりを深めています。

給食は、手づかみやスプーンを使って自分で食べようとしています。自我が芽生えていく中で、子どもたちの「自分でしたい」という気持ちを大切に「できた」を少しづつ増やしながら生活の自立に向けて支援していきます。

8月は、水あそびを通して五感を発揮し、水にふれあい、子ども同士の存在を感じていけるように支援していきます。

### 【青組 4歳児 18人】担任:細川

みんなでの集団遊びを楽しんでいます。「一緒に〇〇しよう」と呼び掛けたり「〇〇する人」と誘って遊んでいます。

今は「だるまさんがころんだ」が大人気です。逃げるとときは早歩きにするなど、ルールを変えて楽しんでいます。

水遊びが始まり、8月は、色水遊びや泡遊び、氷遊びなど、五感を使って夏ならではの遊びを楽しんでいきます。

生活習慣も自立が進み、自分の考えを持ち、周りの子どもたちとの違いに気付くことができるようになりました。

「仲良く遊ぶためには?」など、みんなで話し合う時間を作っています。自分のことだけでなく、どうすればみんなにとって良いかなど、気に掛けて考える力が育まれています。

行事や子どもたち同士の関わりの中で一人ひとりの行動を認めることで満足感や達成感を育み、活動に安心や自信を持って取り組むことができるよう支援していきます。

### ☆職員の専門性を活かした支援担当制 (8分野)によるチーム保育を推進中です☆

#### ①知識能力(知育)支援担当:原田 園長代理

青、白組は、教材やワークブックを活用し、鉛筆を使って点線をなぞったり、様々な線を書くことに挑戦しました。文字のカード遊びを繰り返すことで、読める字が増えてきて、やる気も増しています。黄組は少しずつ鉛筆を使うことに、慣れてきました。興味を持たせて楽しく進めています。

#### ⑧安全教育担当:石崎 乳児主任、蒲生 幼児主任

土砂災害を想定した避難訓練を通して、大雨、土砂災害の怖さ、早い避難の必要性について考えました。また、水遊びの開始前に水遊びの楽しさと、水の恐ろしさを確認して、約束を守って遊びことを話し合いました。

### 【ひよこ組 0歳児 6人】担任:森戸

8月から園児が6人になり賑やかに過ごしています。

一人ひとりと向き合い、安心して生活できるよう、情緒が安定するよう気持ちに寄り添い、発達の基礎が育まれるよう支援しています。表情の変化や囁語に応えることで、子どもたちそれぞれの思いを汲み取ることで毎日が安心して過ごせるようになってきました。

ハイハイのスピードも速くなり、お気に入りの玩具に向かって進めるようになりました。伝い歩きの子どもは歩けるようになります、部屋のあちこちの探索を楽しんでいます。

健康や安全に配慮しながら、沐浴をし、水に親しみ、気持ち良さを伝えています。また、指差しで意思を伝えたり、発語の意欲が増していくよう支援していきます。

### 【黄組 3歳児 19人】担任:島崎

水遊びが始まり、子どもたちから「今日は水遊びできる」と聞いてきて「できるよ」と伝えると、皆で大喜び、大はしゃぎするのが、毎朝の楽しい光景となっています。

衣服や水着の着脱を自分で行うようになり、難しいときは「手伝って」と言葉でも伝えられます。「自分でする」が身に付いて、タオルを畳んだり、布団を畳んだりと自分から進んで行動できるようになりました。

水遊びでは「かけて~」と水に向かって来たり、魚釣りや玩具に水をかけたり、バケツで水を汲んで遊んでいます。

8月は、水を使った色水遊びや氷遊びなどを取り入れて、楽しく水の不思議さに驚いたり発見したりしながら、色々なものへの興味を引き出し、探求心を育んでいきます。

#### ②創作・造形支援担当:奥崎 主任

絵画表現のひろばで白組は、絵の具、水入れ、パレットの使い方を教わりながら、絵の具遊びをしました。青組は、初めて筆を使って自分の口や顔を伸び伸びと描きました。色水遊びや絵の具を使った製作を進めながら、色への興味が広がるよう支援していきます。

#### ③運動機能支援担当:蒲生 幼児主任

体操のひろばと運動しながら、跳び箱、縄跳び、鉄棒のチャレンジカードを見ながら、自分で目標を決め、達成に向けて意欲的に練習に励んでいます。

運動会に向けて「逆上がりができるようになりたい」「縄跳びで走り跳びをしたい」などの向上心が育まれています。あきらめずに取り組む気持ちを大切にし、一人ひとりの可能性を高めていくように支援します。

### 【桃組 2歳児 16人】担任:今田

桃組になり自分でできることを自分でしようとすると育つよう見守っています。排泄後、ズボンを自分で履こうしたり、食後、ハンカチを自分で片付けたりしています。

トイレトレーニングではトイレで排泄できる子どもが増えています。焦らず、急がさず、子どもたちのペースで進めています。手助けをしようとする「自分でする」と手をはねのけることも増えてきました。うれしい成長です!

周りの子どもたちへの関心が強くなり、子ども同士のかかわりも増えています。一緒に遊び笑い合ったり、簡単な会話も増えていますが、互いの思いがぶつかる事も多くなるので、子どもの気持ちを代弁しながら、互いの思いに気付けるように支援していきます。

子どもたちは、水遊びが大好きです。全身を使って水遊びを楽しみ、遊びの中で、共に喜び、達成感を育みながら、自分で考え、自信を持って行動できるよう支援していきます。

#### 【白組 5歳児 19人】担任:本岡

4つのグループで「グループの中でどんなことが自分たちでできるか」と話し合いました。リーダー、おやつ担当、トイレのスリッパ・シューズの整理整頓担当、掃除担当を決めて毎日交代で担当します。毎朝、自分の担当を確認して「今日は〇〇じゃ」と意欲的に取組んでいます。

特にリーダーは、グループのまとめ役としてメンバーに声をかけたり、助けたりと「リーダーってすることがたくさんじゃね」などと役割の大変さを感じています。また、「グループのために」と互いに声を掛け、協力して活動しながら、仲間と助け合う大切さを学んでいます。

夏を迎えて水の不思議さに興味をもち、ルールを守りながらの水遊びを楽しんだり、色水遊び、水で遊べる玩具の製作など「水」を使った活動を沢山取り入れていきます。

ティキヤンプでは、子ども同士の信頼関係を深め、互いに協力して共通の目的に向かい、各自の役割を果たしながら達成感や充実感が満たされるように支援していきます。

#### ⑥食育・健康支援担当:

#### 酒井、佐々木栄養士、今田 もも組担任

虫歯予防デーに合わせて、噛んで食べることの大切さや歯の磨き方などを、歯の模型を使って分かりやすく子どもたちと学びました。プランターで育てた夏野菜を収穫し、色や形を確かめ、栄養や調理方法を伝えながら、食べ物の大切さを理解するように努めました。

感染症を防止するため、手洗いやうがいの大切さ、正しい方法について指導を継続していきます。